

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2020年7月の国内電気銅建値は下記の通りです。

7月	1日	～	690円/Kg
7月	7日	～	700円/Kg
7月	10日	～	720円/Kg
7月	14日	～	740円/kg
7月	17日	～	730円/kg
7月	22日	～	750円/kg
7月	29日	～	730円/kg

2020年7月度は平均で721.40円/kgとなり、前月比62.40円/kgの値上がりとなりました。

海外銅価の動き

7月のLME銅相場	7/1～7/30	(安値ドル 6,016.50～6,545.00 高値ドル)
7月のNYC銅相場	7/1～7/30	(安値セント 271.70～294.20 高値セント)

7月度のLME現物は、7/1 \$6,016.50でスタート。世界経済はコロナウイルスの影響が大きく、全てがマイナスの指標となっている。月末の速報では、米国4～6月期GDPは前期比年率32.9%減との発表があるなど、先の経済には大きな不安要素が影を落とす形となっている。銅相場においては、南米の鉱山がコロナの影響から操業停止に追い込まれるなどの供給不安や、中国への回復の期待感なども含め高騰への動きとなった。LME在庫も5日に20万tを切り、その後も減り続ける動きとなり、月末には13万tを切るころまで減少した。現状の経済状況と銅の実需とは乖離しており、銅相場も先が見えない状況が続く。

銅需給バランス…Brook Hunt 情報 2019年12月 資料より (単位/千トン)

	2019年 実績	2020年 実績	前年比	2021年 予想	前年比	2022年 予想	前年比
全世界地金生産	23,531	23,986	+1.9%	24,639	+2.7%	25,095	+1.8%
全世界地金消費	23,621	24,040	+1.8%	24,593	+2.3%	25,196	+2.5%
全世界需給バランス	-90	-54		+46		-101	

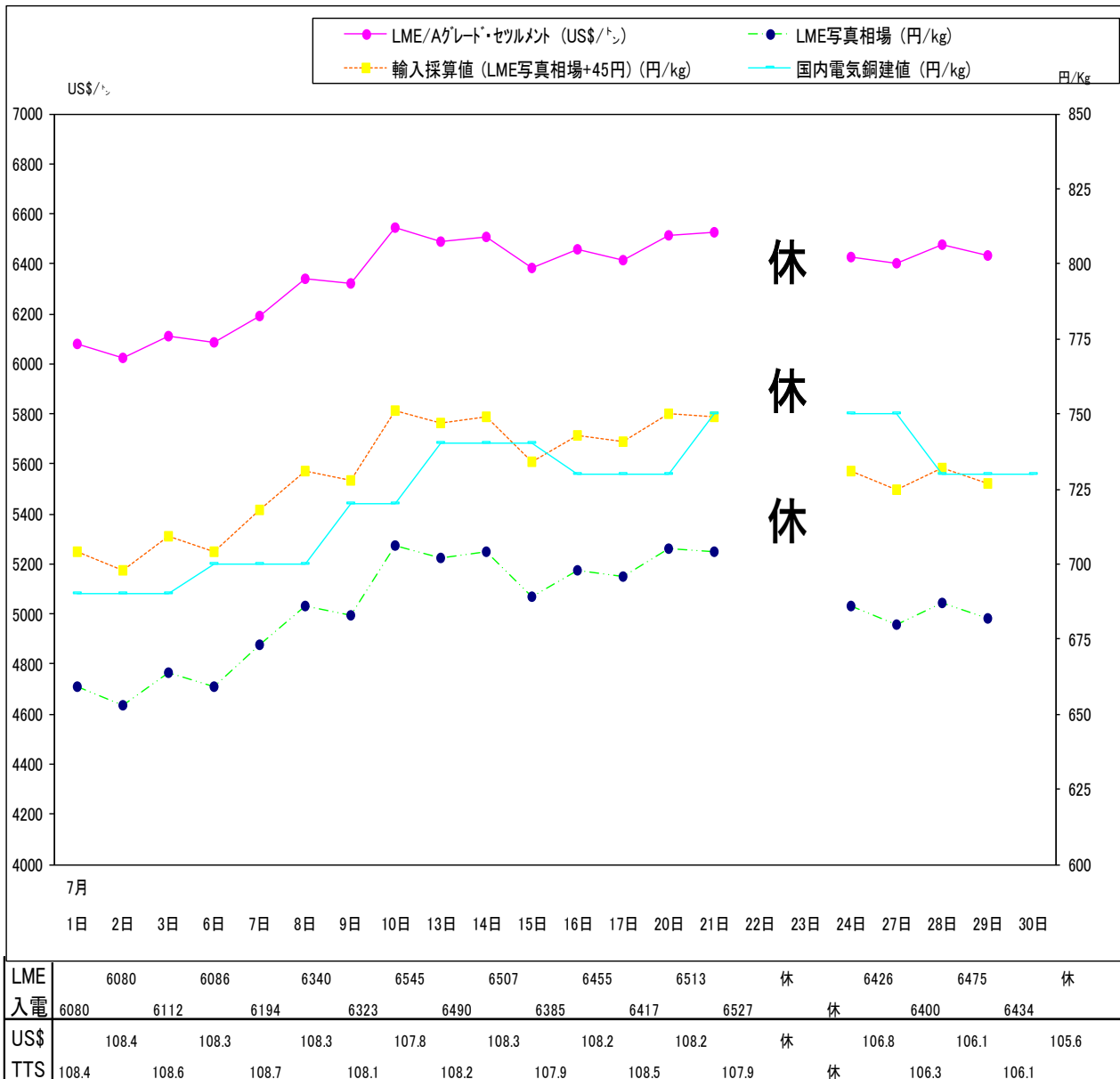
先行き短期見通

国内銅価

7月の国内建値は7月1日690円でスタート。前月(6月)から順調に上がり続けた国内建値の月末値を更に10円上回った。その後7日に700円を超えると加速的に上昇。10日720円、14日740円と改定された。17日に一旦730円と下げるも22日には750円とし、再度29日730円とした。

7/30付 LME \$6,433.50、同為替(TTS)1USD=106.11円で日本円換算計算値683円/kgに。2020年8月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り、720円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2020年7月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 7月 1日 ~ 274 円/kg
- 7月 9日 ~ 283 円/kg
- 7月 14日 ~ 295 円/kg
- 7月 20日 ~ 289 円/kg

平均285.00円/kg

2020年7月は上記の通りで前月比 12.80円/kgの 値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

◎ その他の建値

電気鉛	7月	257.00 円/kg	(前月比+ 8.30 円/kg)
電気錫 (相対)	7月	3,250.00 円/kg	(前月比+ 80.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	7月市中価格	1,550.00 円/kg ~ 1,600.00 円/kg	
銀	6月平均	62,700.00 円/kg	(前月比+ 4,690.00 円/kg)
	7月31日	80,020.00 円/kg	
金	6月平均	6,026.55 円/g	(前月比+ 53.08 円/g)
	7月31日	6,610.00 円/g	

◎ 伸銅品関係

2020年6月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		5月度実績	6月度速報	前月比	前年6月度実績	前年同月比
銅	板	889	943	6.1%	1,787	-47.2%
	条	16,509	16,432	-0.5%	21,784	-24.6%
	管	7,323	6,809	-7.0%	9,448	-27.9%
	棒	1,500	1,564	4.3%	2,271	-31.1%
	線	221	215	-2.7%	261	-17.6%
黄銅	板	475	526	10.7%	655	-19.7%
	条	5,521	4,702	-14.8%	8,640	-45.6%
	管	338	345	2.1%	485	-28.9%
	棒	11,637	10,870	-6.6%	14,442	-24.7%
	線	1,247	1,096	-12.1%	2,100	-47.8%
青銅	板	1,742	1,766	1.4%	1,788	-1.2%
	条					
	棒	211	230	9.0%	300	-23.3%
	線					
洋白・その他	板	365	310	-15.1%	367	-15.5%
	条					
	棒	190	144	-24.2%	472	-69.5%
	線					
合計	48,168	45,952	-4.6%	64,800	-29.1%	

6月の伸銅品生産速報は、45,952トンで前月比マイナス2,216トン、前年同月比マイナス29.1%となり、前年同月比が19ヶ月連続でマイナスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の4月分実績及び5月分推定によれば、4月分実績はコロナの影響を受け7部門のうち通信を除いた6部門が軒並み前年同月を割込み、総計は5万2千408万tで前年同月比11.8%減と大幅に落ち込み、7ヶ月連続で減少した。この総出荷量は、2009年4月以来の低いレベルまで下がった。

一方、5月分推定はさらにコロナの影響を強く受け、自動車と同43.7%減と大幅に下降したうえ、主力の建設電販も同21.3%減少となるなど、通信を除いた6部門が全て二桁減少し、総計は4万1千600tで同26.3%減。これは1975年1月以来の低水準。

4月の部門別出荷をみると、唯一のプラスとなった通信は同9.1%増加し、3ヶ月連続で伸長。年度末需要と5G絡みが健闘した。マイナスグループは6部門となった。電力はここに来て洋上風力発電向けが動き出したものの、コロナの影響によって敷設作業が不足したこともあって同0.7%減とわずかに前年を下回り、5ヶ月ぶりに減少。電気機械は貿易摩擦に加え、新型コロナも微妙に響き同10.6%減少し、20ヶ月連続で全年割れとなった。自動車はコロナ禍でメーカーの操業が低下し、生産台数が大幅に低下したため、同19.5%の大幅減となり、5ヶ月ぶりに前年割れ。建設電販は電設ルートが影響をもちに受け同11.9%減少となった。その他内需、輸出もコロナの影響を受け、各々同11.5%減と同24.0%減少となり、輸出は4ヶ月連続で下回る結果となった。

2020年4月分(実績)・2020年5月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	4月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	5月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	4月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	1,040	21.4	9.1	1,000	(▼)3.8	11.2	1,495	13.9	▼ 0.1
電力	(1,199)	(▼)50.4	(17.0)	(1,600)	(33.4)	(3.4)	(960)	(▼)44.1	(40.4)
電気機械	3,883	▼ 30.9	▼ 0.7	3,700	▼ 4.7	▼ 13.4	4,354	▼ 45.2	▼ 8.7
	(177)	(▼)42.7	(▼)51.2				(174)	(▼)44.1	(▼)46.0
	10,395	▼ 9.7	▼ 10.6	7,400	▼ 28.8	▼ 34.0	13,188	▼ 17.9	▼ 15.3
自動車	(128)	(▼)23.4	(▼)22.0				(450)	(▼)26.7	(▼)15.1
	6,131	▼ 22.7	▼ 19.5	4,000	▼ 34.8	▼ 43.7	24,538	▼ 37.3	▼ 30.5
建設・電販	(7)	(▼)85.4	(▼)82.5				(18)	(▼)59.1	(▼)48.6
	26,220	▼ 2.9	▼ 11.9	21,800	▼ 16.9	▼ 21.3	28,110	▼ 5.9	▼ 18.6
その他内需	(52)	(40.5)	(▼)27.8	(400)	(9.9)	(▼)30.1	(64)	(52.4)	(12.3)
	3,571	▼ 13.0	▼ 11.4	3,200	▼ 14.7	▼ 19.7	6,354	▼ 9.7	▼ 15.8
内需計	(1,563)	(▼)47.5	(▼)6.1	(2,000)	(28.0)	(▼)5.6	(1,666)	(▼)38.9	(2.3)
	51,420	▼ 10.2	▼ 11.5	41,100	▼ 20.1	▼ 25.5	79,039	▼ 23.0	▼ 21.3
輸出	(132)	(▼)94.1	(13100.0)	(200)	(51.5)	(9900.0)	(87)	(▼)92.7	(1350.0)
	988	▼ 36.9	▼ 24.0	500	▼ 49.4	▼ 62.1	3,971	▼ 32.4	▼ 14.6
合計	(1,695)	(▼)67.5	(1.8)	(2,200)	(29.8)	(3.7)	(1,753)	(▼)55.2	(7.2)
	52,408	▼ 10.9	▼ 11.8	41,600	▼ 20.6	▼ 26.3	82,011	▼ 23.5	▼ 21.0
心線販売	(485)	(9.5)	(▼)16.8	(400)	(▼)17.5	(▼)4.1	(111)	(5.7)	(▼)26.0
	23,591	▼ 8.1	▼ 19.6	19,000	▼ 19.5	▼ 35.6	14,874	▼ 13.8	▼ 30.6

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2020年4月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	4,332	25.9	14.1	2,789	0.9	▼ 26.4	
巻線	9,323	▼ 16.9	▼ 15.7	8,624	▼ 28.9	▼ 26.5	
機器用電線	3,366	0.7	▼ 1.5	9,519	▼ 5.1	0.6	
通信用電線・ケーブル	1,309	10.4	▼ 9.3	2,787	2.5	▼ 10.6	
電力用電線・ケーブル	20,344	▼ 13.9	▼ 10.0	19,464	▼ 24.6	▼ 17.0	
被覆線	9,882	▼ 1.0	▼ 11.0	13,613	▼ 2.2	▼ 13.9	
輸送用電線	3,852	▼ 35.6	▼ 35.6	25,215	▼ 36.8	▼ 30.9	
銅電線計	52,408	▼ 10.9	▼ 11.8	82,011	▼ 23.5	▼ 21.0	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	61	▼ 12.9	▼ 29.1	266	▼ 10.3	▼ 20.4
	電力用電線・ケーブル、被覆線	3,006	16.6	▼ 14.9	3,147	7.5	▼ 23.0
	計	3,071	15.8	▼ 15.3	3,393	5.8	▼ 22.8
アルミ電線計	1,695	▼ 67.5	1.8	1,753	▼ 55.2	7.2	
光製品	3,849,088	▼ 1.3	▼ 0.8	21,462	▼ 40.6	▼ 3.3	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	5,282	▼ 14.2	27.6	

(注)2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注)3. 光製品の数量はkmc

(注)4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週、中国の製造業が好調であること、米国のISM製造業景況指数が良好であったことを受けアルミ相場は堅調にスタート。第2週、中国主導の需要回復期待によりアルミ相場は引き続き堅調に推移。リオ・ティントがニュージーランドの精錬所（NZAS）を2021年8月に閉鎖のニュースが流れたものの、市場はすでに折込済みで、価格に大きな影響は与えなかった。米国南部・西部の州を中心に新型コロナ感染者が増え続けて、連日一日当たりの感染者数の過去最多を連日記録しており、リスク回避の円買いが優勢となり107円台後半を付けた。第3週、新型コロナの感染者増加や米中対立の懸念があるもののマーケットは反応薄く、小幅な推移。中国の国内総生産の成長率が予想を上回ったが、アルミ価格にはほとんど影響がなかった。新型コロナウィルスのワクチン開発への期待感根強く円は106円後半～107円前半で推移。第4週、欧州において7500億ユーロの復興基金の設立が合意され、欧州景気を支えるとの見方から価格は堅調に推移。新型コロナウィルスワクチン開発の期待の高まりも相場を後押し。最終週、中国人民銀行元の基準値を元高方向に設定し、上海株も小幅に反発したことから、メタル価格もその動きに連動。一方でドル安が猛烈な勢いで加速しており、金・ユーロ・円高がさらに進行。米中双方がマネーの受け皿にならないため銀や関係のないパラジウムまで上昇し、更には無国籍通貨ということでビットコインまでもが上昇。行き場のないマネーが消去法的に買えそうなものを買っているポジティブとは言えない上昇傾向。米中関係の対立が懸念される中、当面は\$1,720前後での堅調な推移を予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー（CIF） 2020年 6～7月積 1,741.00～1,755.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格 2020年 6～7月積 199.10～200.70 円/kg
- ・NSP 2020年 5月 207.40 円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2020年 7月～9月 220.00 円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位＝千トン）

	'20年5月	'20年6月	'19年6月
月生産	2,343.0	2,269.0	2,288.0
平均日産	75.6	75.6	76.3

(*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

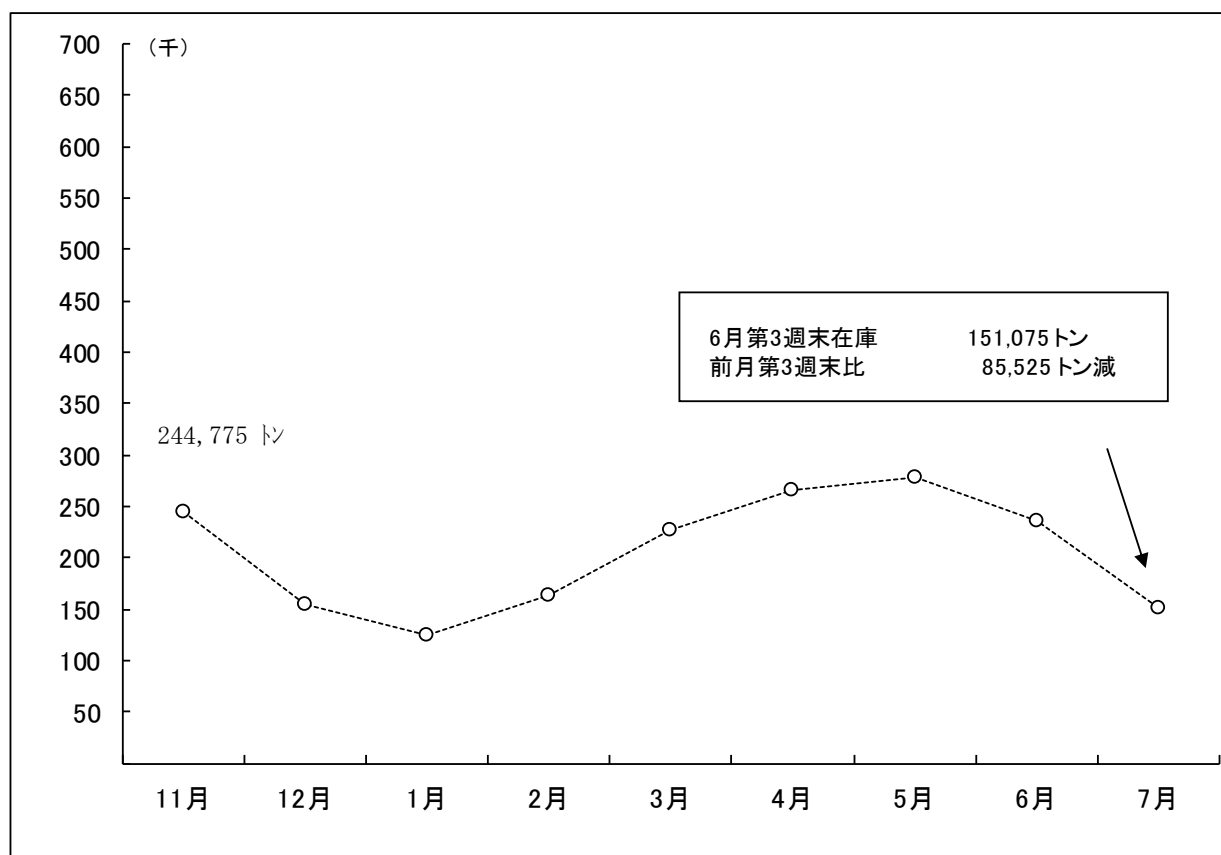
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2020年3月	2020年4月	増減	2019年4月	増減
横浜	156,500	160,500	+4,000	150,900	+9,600
名古屋	125,600	133,500	+7,900	134,100	-600
大阪	15,000	15,000	±0	15,000	±0
合計	297,100	309,000	+11,900	300,000	+9,000

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・20年7月17日現在 88,410 S T 前月比 12,547 S T 増

◎ 国内山元電気銅在庫

・20年5月末 117,657 トン 前月比 12,724 トン増

◎ 伸銅品生産実績

・20年5月確報 48,168 トン
・20年6月速報 45,952 トン 前月比 95.7 %

◎ 電線出荷実績

・20年6月速報 50,300 トン 前月比 120.9 %

◎ 軽圧品生産実績

・20年 6月	板 類	84,121 トン	
	押 出 類	50,157 トン	
		<hr/>	
		134,278 トン	前月比 106.3 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。